

この説明文書はお薬とともに保管し、服用の際にはよくお読みください。

頭痛・歯痛・生理痛

第2類
医薬品

メルレン顆粒

解熱鎮痛薬

胃にやさしい生薬配合

メルレン顆粒は、痛みの中枢に作用して鎮痛効果を現わす洋薬、末梢性鎮痛作用を有する生薬、さらに鎮痛効果を助ける成分と胃壁の保護作用のある生薬を配合した解熱鎮痛薬です。

⚠ 使用上の注意

してはいけないこと ❌

(守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起りやすくなります)

1. 次の人は服用しないでください

- (1)本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (2)本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。

2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないでください

他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬

- 3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないでください (眠気等があらわれることがあります。)
- 4. 服用前後は飲酒しないでください
- 5. 長期連用しないでください

相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

- (1)医師又は歯科医師の治療を受けている人。
- (2)妊婦又は妊娠していると思われる人。
- (3)水痘(水ぼうそう)若しくはインフルエンザにかかっている又はその疑いのある乳・幼・小児(15歳未満)。
- (4)高齢者。
- (5)薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
- (6)次の診断を受けた人。

心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍

2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

関係部位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精神神経系	めまい
そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがあります。その場合は直ちに医師の診療を受けてください。

症状の名称	症 状
ショック (アナフィラキシー)	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群 (ステvens-Johnson症候群)、 中毒性表皮壊死融解症、 急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ(小膿疱)が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。
肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸(皮膚や白目が黄色くなる)、褐色尿、全身のだるさ、食欲不振等があらわれる。
* 腎障害	発熱、発疹、尿量の減少、全身のむくみ、全身のだるさ、関節痛(節々が痛む)、下痢等があらわれる。

(必ず裏面もお読みください)

症状の名称	症 状
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、この説明文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください 眠気

4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この説明文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談してください

〔効能・効果〕

1) 月経痛（生理痛）・頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・外傷痛の鎮痛

2) 悪寒・発熱時の解熱

〔用法・用量〕

次の1回量を、1日2回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用してください。

服用間隔は6時間以上おいてください。

年 齢	15歳以上	11歳以上15歳未満	7歳以上11歳未満	3歳以上7歳未満	3歳未満
1回量	1包	2/3包	1/2包	1/3包	服用しないこと

〔用法・用量に関連する注意〕

小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させてください。

〔成分・分量〕

1日量（2包）中

（1包量1500mg）

成 分	分量	はたらき
アセトアミノフェン	600 mg	痛みの中枢に作用して鎮痛効果をあらわします。
エテンザミド	900 mg	
アリルイソプロピルアセチル尿素	120 mg	鎮痛効果を増強させます。
無水カフェイン	120 mg	骨格筋に作用し、痛みを緩解します。
カンゾウエキス末-A （原生薬換算量700mg）	100 mg	筋肉の緊張を和らげます。胃壁の保護作用があり、鎮痛成分の胃に対する刺激を緩和し、胃粘膜の荒れを防ぎます。
ケイヒ末	150 mg	解熱、皮膚血管拡張作用等があります。
シャクヤクエキス （原生薬換算量700mg）	70 mg	末梢性鎮痛作用があり、筋肉の痙攣と疼痛を取り除きます。
ショウキョウ末	100 mg	

添加物：D-マンニトール、ヒドロキシプロピルセルロース、カルメロースCa、ℓ-メントール

〔保管及び取扱い上の注意〕

(1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管してください。

(2) 小児の手の届かない所に保管してください。

(3) 他の容器に入れ替えないでください（誤用の原因になったり品質が変わります）。

(4) 1包を分割した残りを服用する場合には、袋の口を折り返して保管し、2日以内に服用してください。

(5) 配置期限を過ぎた製品は服用しないでください。

本品についてのお問い合わせは、下記までご連絡いただきますようお願い申し上げます。

東亜薬品株式会社 お客様くすり相談室

〒939-3542 富山県富山市水橋開発277番10

電 話：076-478-5580

受付時間：9:00～16:00（土、日、祝祭日を除く）

製造販売元 **東亜薬品株式会社**

富山県富山市水橋開発277番10